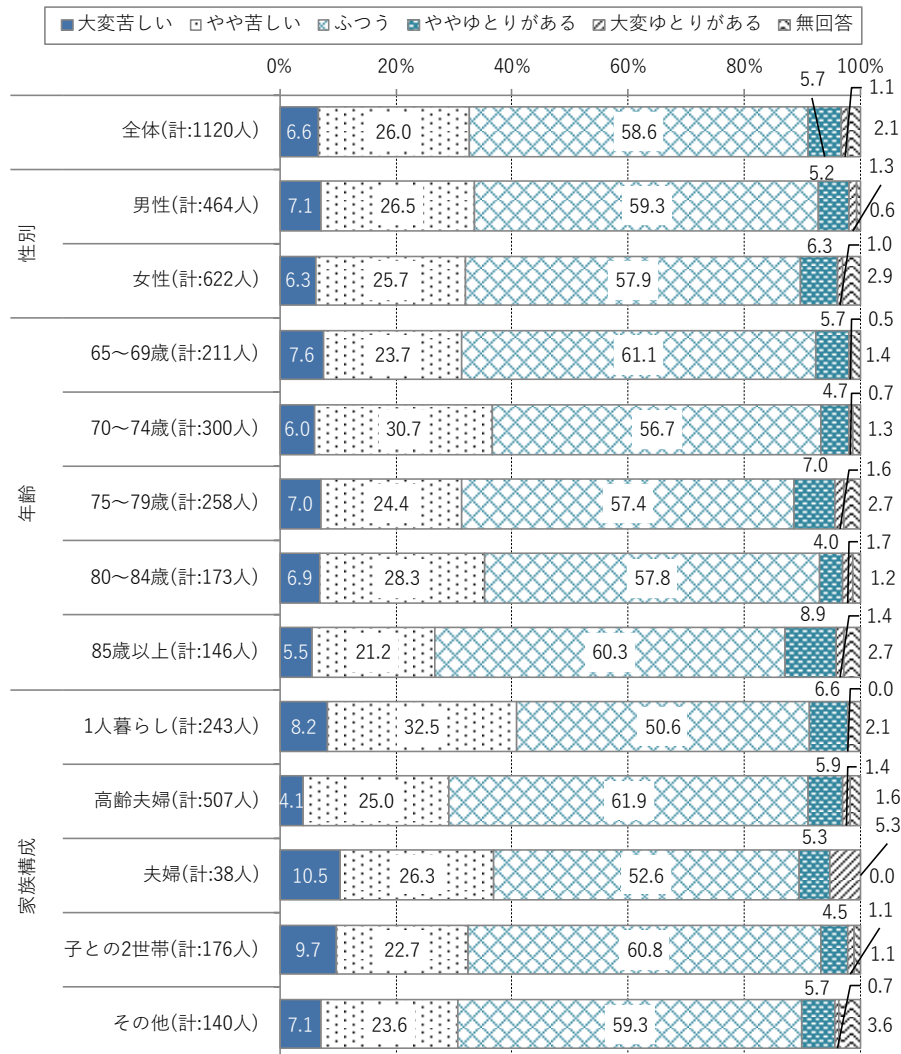


日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護実態調査結果の概要

① 世帯状況、調査対象者の状況について

- ・現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」と回答した人の割合が58.6%と最も高くなっている。次いで「やや苦しい」が26.0%、「大変苦しい」が6.6%と続いている。
- ・家族構成別にみると、「1人暮らし」は他の家族構成に比べて「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した人の割合が高い傾向にあることがわかる。
- ・在宅介護実態調査の回答者の年齢を介護度別にみると、『要介護3・4・5』の重・中度では約8割が75歳以上の後期高齢者となっている。
- ・こういったものから情報を得ているかについては、「テレビ」と回答した人の割合が90.6%と最も高くなっている。次いで「新聞」が68.5%、「市の広報誌」が43.9%、「インターネット」が30.6%と続いている。

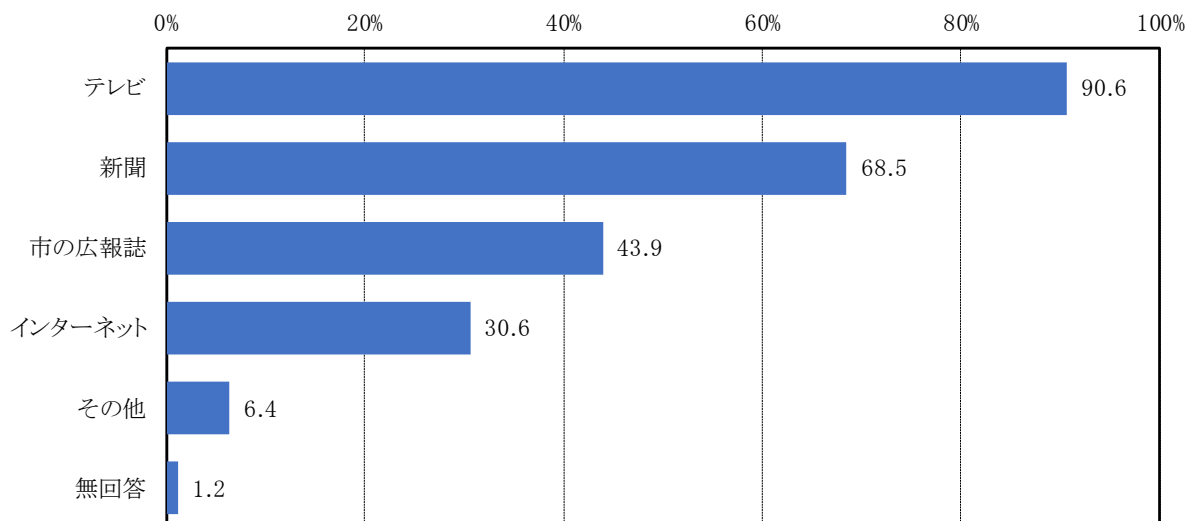
■ ニーズ調査 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)



■在宅介護実態調査 回答者の年齢（単数回答）

		合計	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳
全体		577	1.0	4.7	7.8	11.3
要介護度	要支援1	20	0.0	0.0	5.0	5.0
	要支援2	22	4.5	9.1	4.5	13.6
	要介護1	201	1.0	4.0	5.0	10.0
	要介護2	123	0.0	5.7	7.3	18.7
	要介護3	92	2.2	6.5	13.0	9.8
	要介護4	62	1.6	1.6	8.1	6.5
	要介護5	35	0.0	2.9	17.1	14.3
		合計	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		577	17.3	23.6	33.3	1.0
要介護度	要支援1	20	10.0	45.0	35.0	0.0
	要支援2	22	13.6	36.4	18.2	0.0
	要介護1	201	18.9	27.9	32.8	0.5
	要介護2	123	16.3	21.1	30.9	0.0
	要介護3	92	14.1	16.3	37.0	1.1
	要介護4	62	16.1	25.8	40.3	0.0
	要介護5	35	25.7	11.4	28.6	0.0

■ニーズ調査 どういったものから情報を得ていますか。（複数回答）



計:1,120人

② 主な介護者の状況について

- 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と回答した人の割合が28.6%と最も高くなっている。次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が26.1%、「制度を利用しやすい職場づくり」が25.5%と続いている。
- 要介護度別にみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と回答した人の割合が最も高かったのは、要支援2で42.9%となっている。

■在宅介護実態調査 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（複数回答）

		合計	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供
全体		161	8.1	28.6	25.5	26.1	5.6	9.9
要介護度	要支援1	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	要支援2	7	0.0	42.9	28.6	42.9	0.0	14.3
	要介護1	68	8.8	29.4	25.0	29.4	7.4	7.4
	要介護2	38	5.3	31.6	28.9	28.9	7.9	7.9
	要介護3	23	13.0	21.7	30.4	13.0	0.0	17.4
	要介護4	14	7.1	21.4	21.4	21.4	0.0	21.4
	要介護5	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
		合計	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		161	7.5	22.4	0.6	24.8	1.9	10.6
要介護度	要支援1	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	要支援2	7	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0
	要介護1	68	10.3	17.6	0.0	22.1	2.9	8.8
	要介護2	38	5.3	31.6	0.0	28.9	0.0	10.5
	要介護3	23	0.0	17.4	4.3	30.4	0.0	4.3
	要介護4	14	0.0	21.4	0.0	14.3	7.1	21.4
	要介護5	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0

③ 介護保険サービス等の利用について

- 令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用したかについては、要介護者の約7割が何らかのサービスを利用している。介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と回答した人の割合が32.4%と最も高くなっている。次いで、「家族が介護をするため必要ない」が17.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が15.8%と続いている。
- 要介護度別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と回答した人の割合が最も高かったのは、要支援2で66.7%となっている。

■在宅介護実態調査 【介護保険サービスを利用していない方】

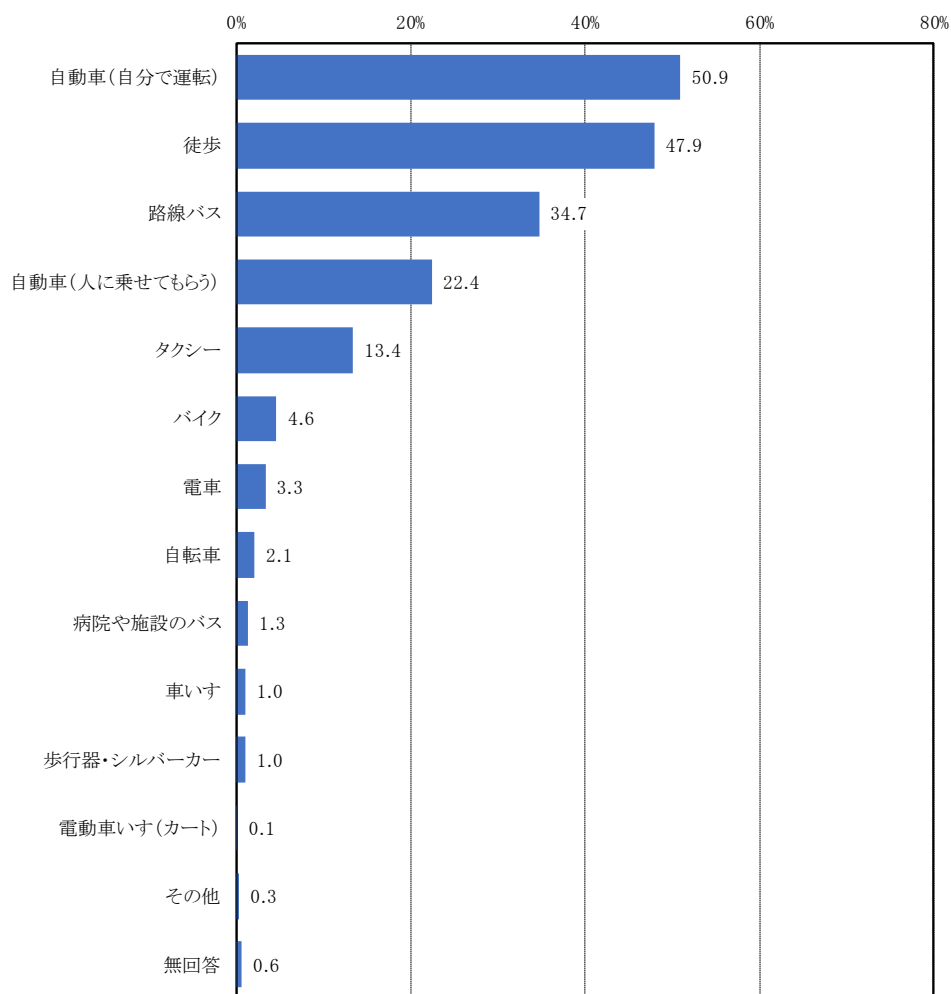
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

		合計	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい
全体		139	32.4	15.8	17.3	2.9	5.0
要介護度	要支援1	8	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0
	要支援2	3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0
	要介護1	48	37.5	16.7	18.8	2.1	2.1
	要介護2	24	33.3	25.0	37.5	12.5	16.7
	要介護3	20	30.0	5.0	10.0	0.0	5.0
	要介護4	16	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	要介護5	10	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0
		合計	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		139	0.0	5.8	3.6	28.1	15.1
要介護度	要支援1	8	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	要支援2	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1	48	0.0	2.1	6.3	27.1	10.4
	要介護2	24	0.0	20.8	0.0	16.7	12.5
	要介護3	20	0.0	5.0	0.0	30.0	30.0
	要介護4	16	0.0	6.3	6.3	62.5	18.8
	要介護5	10	0.0	0.0	0.0	50.0	20.0

④ 社会参加・地域活動の状況

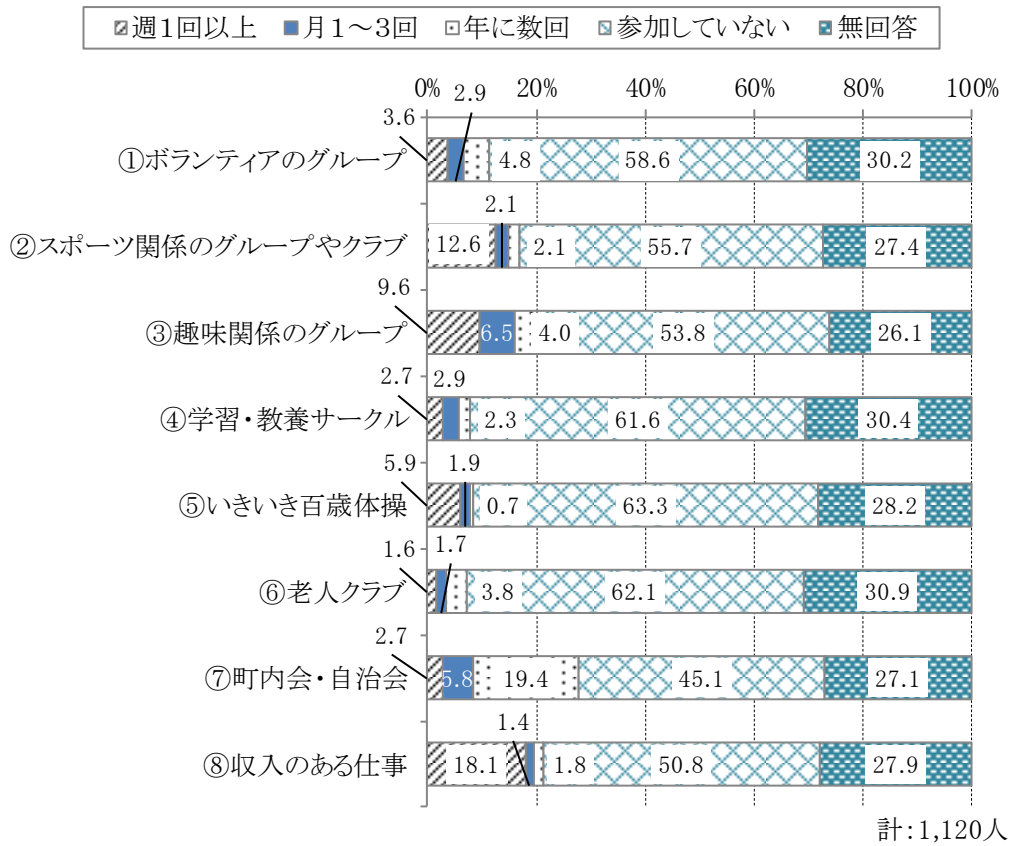
- 外出する際の移動手段は何かについては、「自動車（自分で運転）」が 50.9%と最も高くなっている。次いで「徒歩」が 47.9%、「路線バス」が 34.7、「自動車（人に乗せてもらう）」が 22.4%と続いている。
- 会・グループに等にとどのくらいの頻度で参加しているかについては、年に1度でも参加している人が最も多いのは「町内会・自治会」で 27.9%となっている。次いで「収入のある仕事」が 21.3%、「趣味関係のグループ」が 20.1%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 16.8%と続いている。

■ ニーズ調査 外出する際の移動手段は何ですか。（複数回答）



計:1,120人

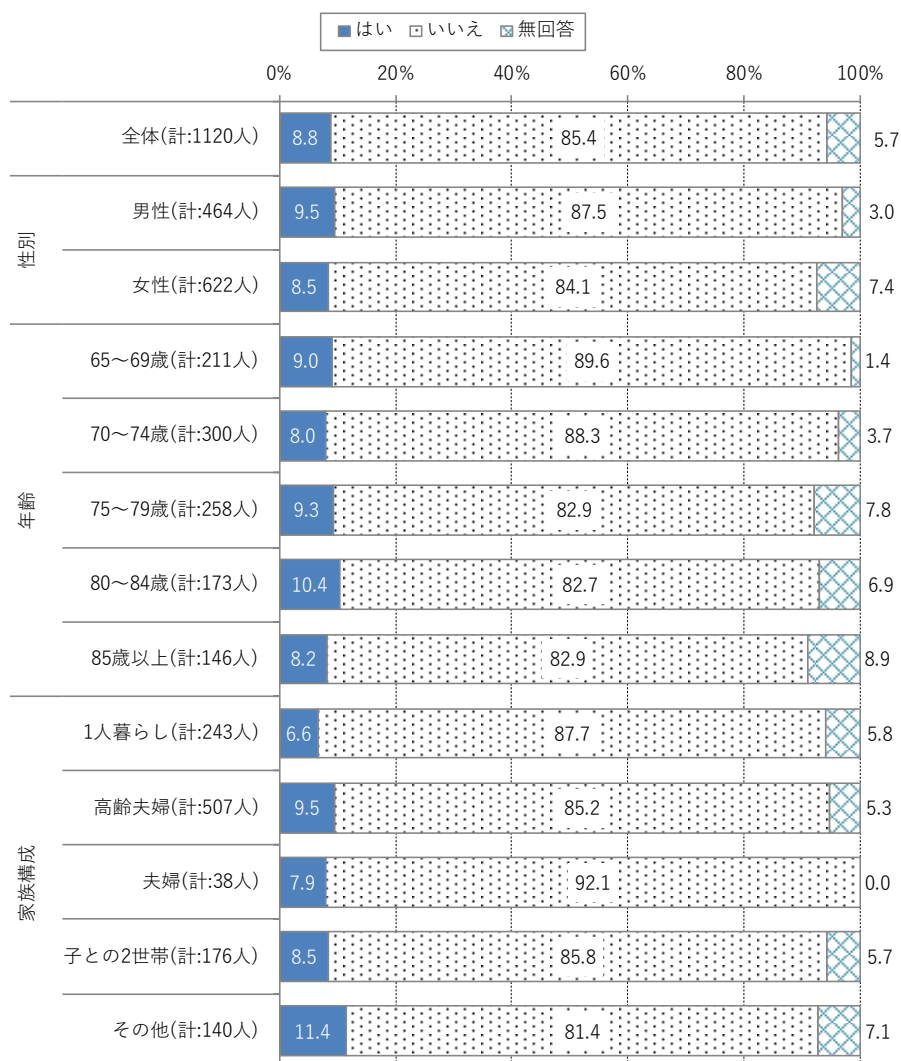
■ニーズ調査 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(単数回答)



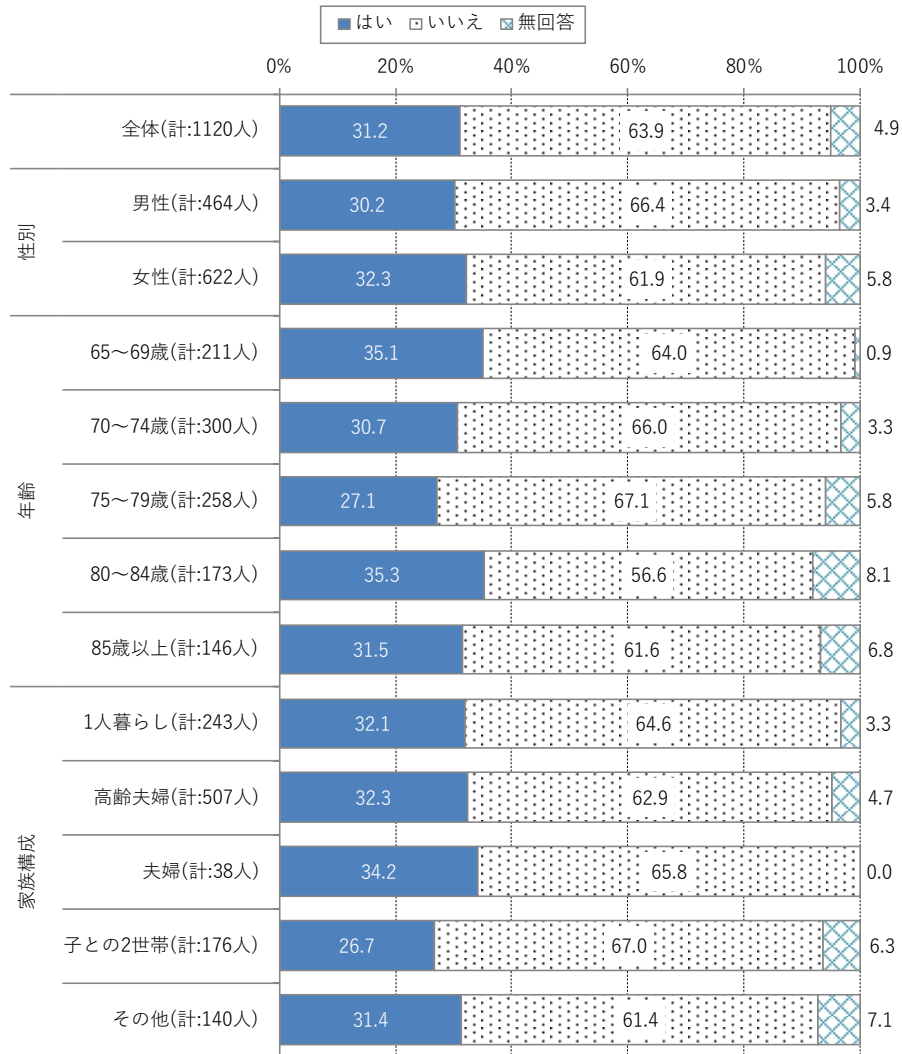
⑤ 認知症支援について

- 一般高齢者及び要支援者では、「はい（認知症の症状がある）」が8.8%となっている。年齢別で「はい（認知症の症状がある）」の割合を見ると、80～84歳が10.4%と最も高くなっている。
- 認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が31.2%となっている。知っている相談窓口としては、「地域包括支援センター」が73.9%と最も高く、次いで「医療機関」が60.2%となっている。

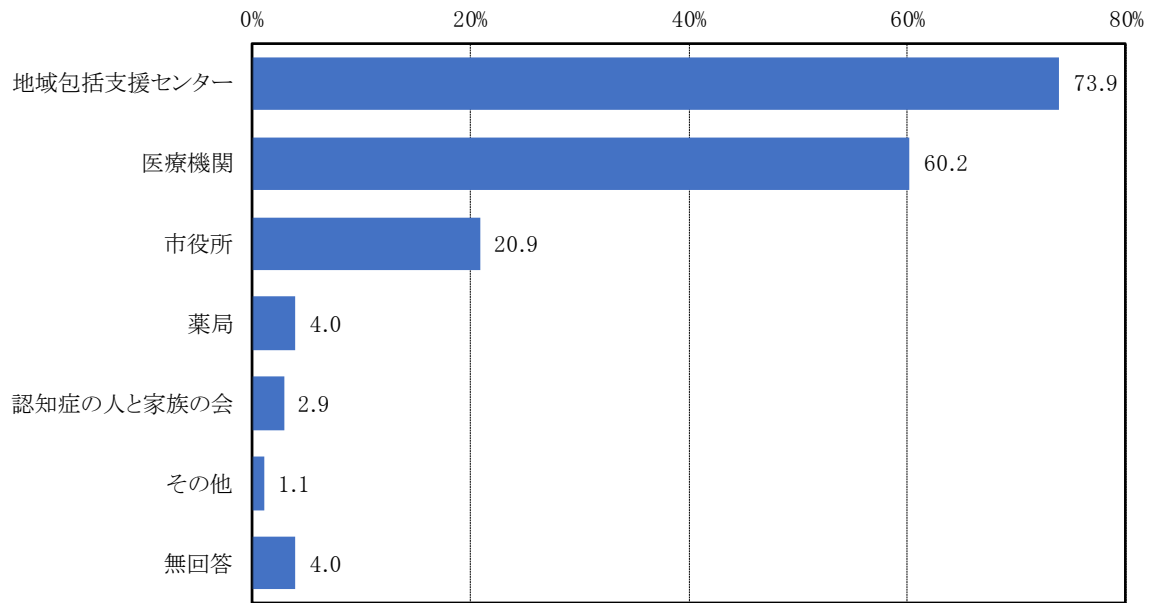
■ ニーズ調査 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（単数回答）



■ニーズ調査 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)



■ニーズ調査 【(2)で「1.はい」と答えた方のみ】それはどこですか。(複数回答)

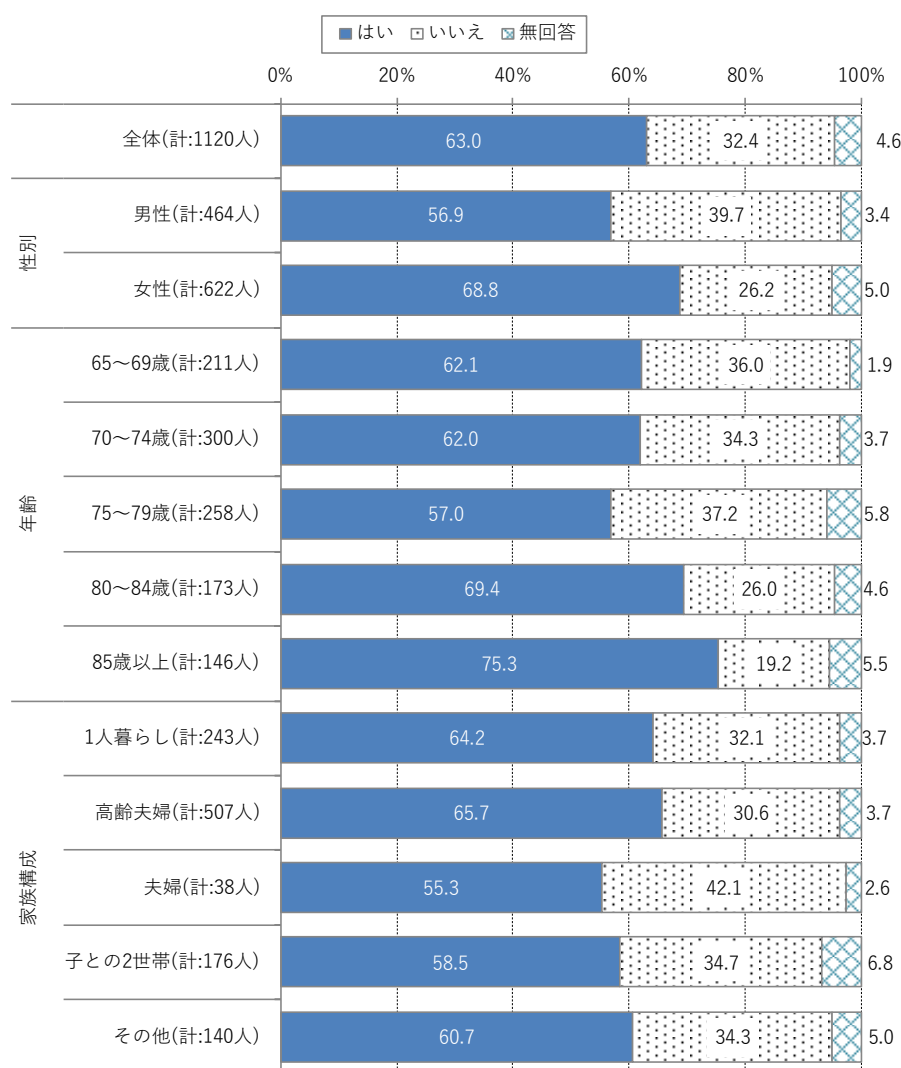


計:349人

⑥ 地域包括支援センターについて

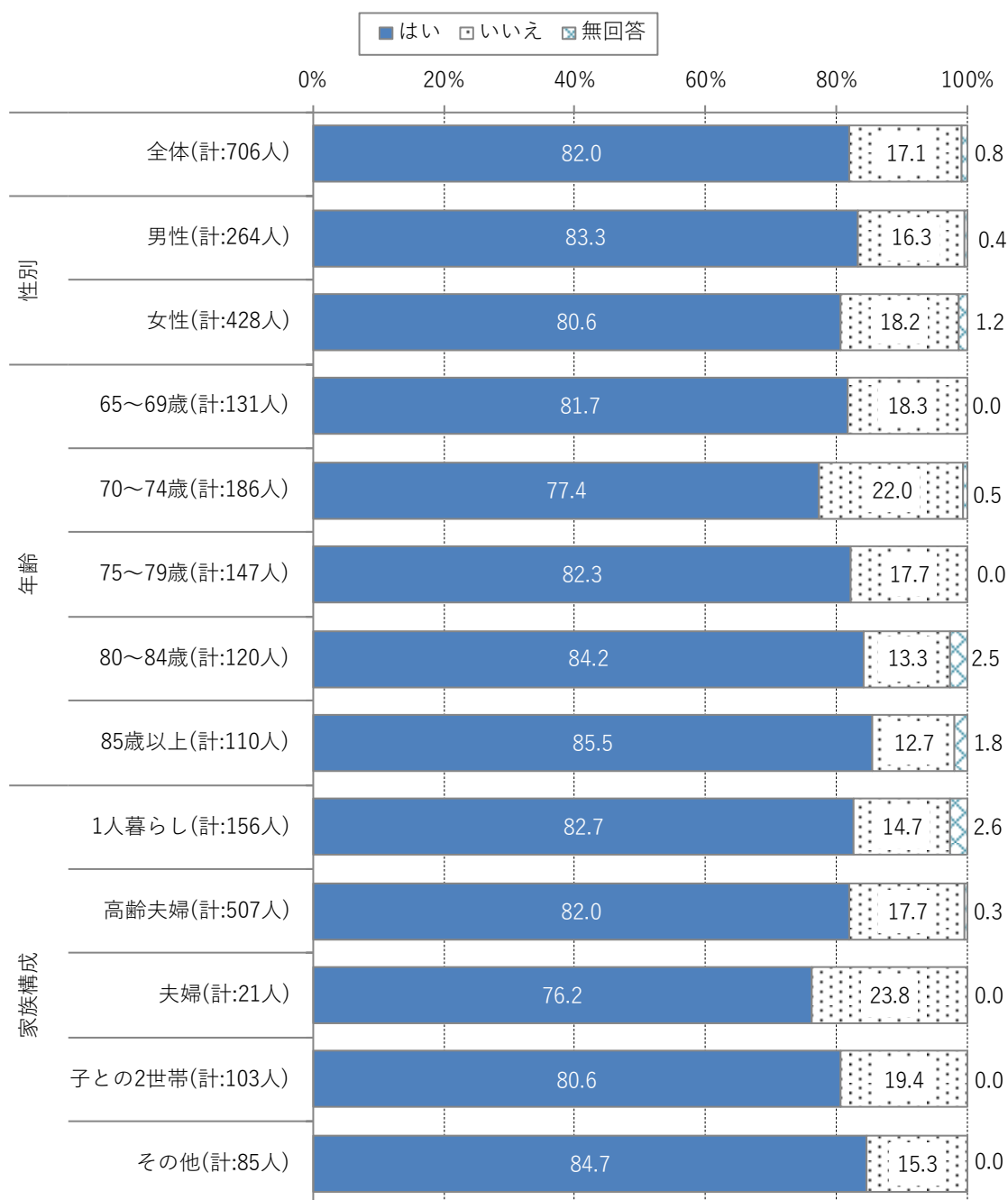
- 地域包括支援センターがあることを知っているかについては、「はい」と回答した人の割合は63.0%となっている。一方、「いいえ」と回答した人の割合は32.4%となっている。
- 地域包括支援センターの場所を知っているかについては、「はい」と回答した人の割合は82.0%となっている。一方、「いいえ」と回答した人の割合は17.1%となっている。
- 地域包括支援センターを利用してどうだったかについては、「満足」と回答した人の割合が63.5%と最も高くなっている。次いで「大変満足」が18.3%、「やや不満」が9.6%と続いている。

■ニーズ調査 高齢者の介護および権利擁護、介護予防などの相談窓口として「地域包括支援センター」があることをご存じですか。(単数回答)



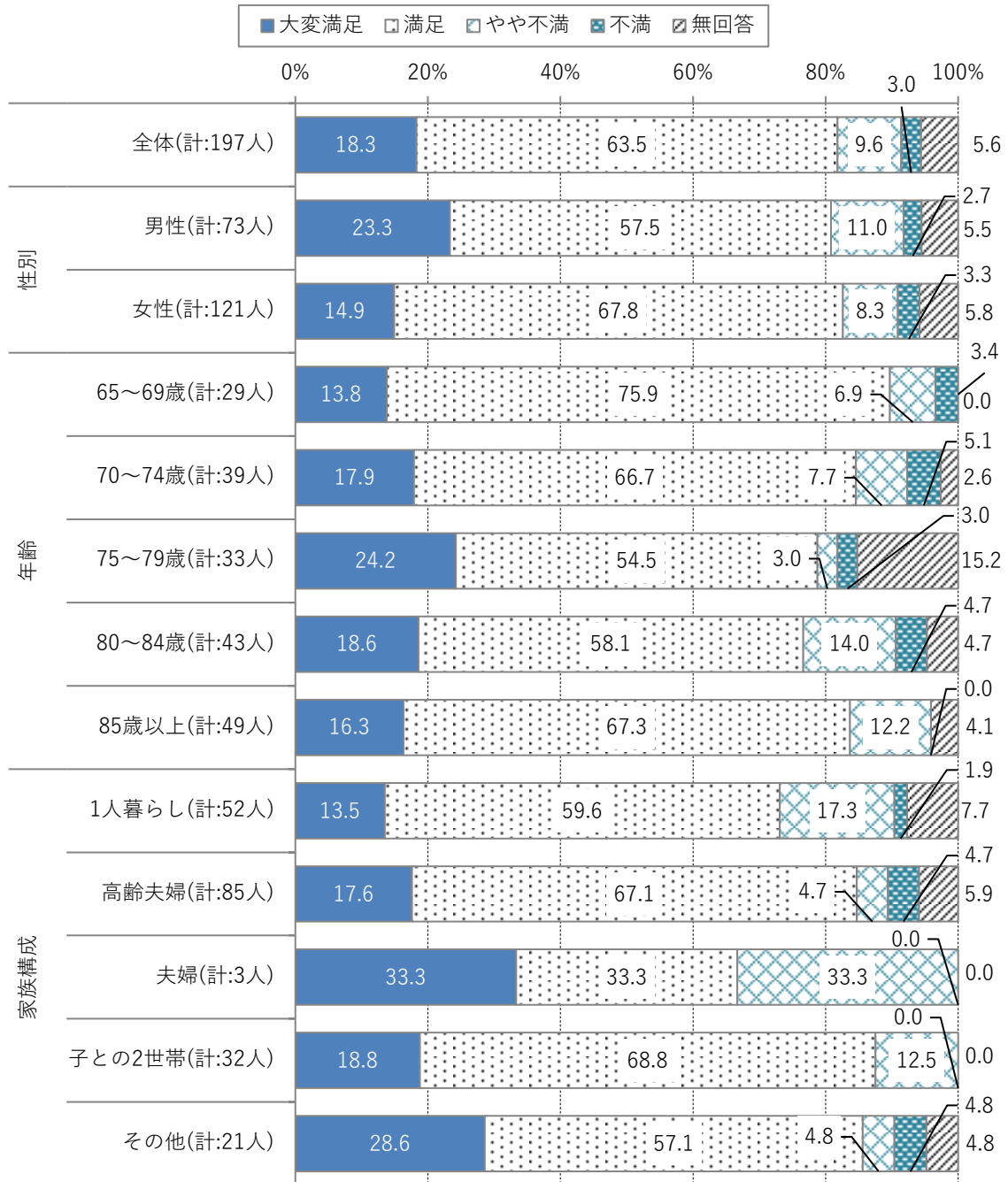
■ニーズ調査【地域包括支援センターを知っている方】

地域包括支援センターの場所をご存じですか。(単数回答)



■ニーズ調査 【地域包括支援センターの利用経験がある方】

地域包括支援センターを利用されていかがでしたか。(単数回答)



⑦ 介護者の今後の介護希望

- 介護者の今後の介護希望については、無回答を除くと「介護保険サービス（ホームヘルパーなど）や福祉サービスを活用しながら在宅で介護したい」が最も高く、次いで「グループホームのように小規模で家庭的な施設に入所させたい」や「特別養護老人ホームや老人保健施設などの大きな施設に入所（院）させたい」が高くなっている。

■在宅介護実態調査 今後、どのような介護をしたいですか。（単数回答）

	合計	なるべく家族のみで、在宅で介護したい	介護保険サービス（ホームヘルパーなど）や福祉サービスを活用しながら在宅で介護したい	グループホームのように小規模で家庭的な施設に入所させたい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの大きな施設に入所（院）させたい	要介護になっていない（自立）配偶者と一緒に生活できる施設に入所させたい	その他	無回答	
全体	577	8.7	28.8	13.2	11.4	0.7	3.3	34.0	
要介護度	要支援1	20	10.0	20.0	5.0	30.0	0.0	0.0	35.0
	要支援2	22	9.1	45.5	4.5	13.6	0.0	0.0	27.3
	要介護1	201	6.5	26.4	19.9	10.4	0.5	4.0	32.3
	要介護2	123	13.0	32.5	7.3	11.4	0.8	4.1	30.9
	要介護3	92	9.8	28.3	8.7	15.2	1.1	2.2	34.8
	要介護4	62	6.5	22.6	17.7	9.7	1.6	4.8	37.1
	要介護5	35	2.9	42.9	5.7	2.9	0.0	2.9	42.9

⑧ 介護保険料とサービスのバランス

- 介護保険料についてどう思うかについては、「どちらともいえない」と回答した人の割合が41.2%と最も高くなっている。次いで「介護保険料が多少高くなっても、受けることができるサービスを充実した方がよい」が29.3%、「受けることができるサービスを多少抑えても、介護保険料は上げない方がよい」が19.9%と続いている。
- 要介護度別にみると、「介護保険料が多少高くなっても、受けることができるサービスを充実した方がよい」と回答した人の割合が最も高かったのは、要支援2で45.5%となっている。

■ 在宅介護実態調査 介護保険にかかる費用は、高齢化が進み、介護を必要とする人が増え続けているため、今後高くなることが予測されます。あなたは介護保険料についてどう思いますか。(単数回答)

